

**9.**

**読書と現実の生活に架け橋を。** 読書の内 容が、子供達の生活とどんな風に結び付いて いるのかを話し合いましょう。読書によって何を 学べるのか、その都度話してあげて下さい。レシピ通りに すれば、または作り方を参考にすれば、もっと簡単にでき 上がることを教えてあげます。やりたいことは何でも、 本を読めばその手ほどきが得られるんだと、子供達が 感じるように導いてあげましょう。

**10. 習慣をつける。** スポーツや家族行事によって、定 刻通り読書ができない日は、別の時間を 読書にあてましょう。あなたにとって読書時 間がどれほど大切か、子供達に示す必要があ るのです。



**11. 自分で読めるようになっても、一緒に読書する 習慣をやめない。** 子供達は、読書力がついてもし ばらくは、お話しを聞いたり話し合ったりするのが大好き です。これまでよりは少し難しい内容の本を一緒に朗読し たり、交替で読んだりしましょう。年長の子供達も、親の 傍に いるのが好きなのですから、読書している彼らの横 で新聞を読むとよいでしょう。雑誌の定期購読を贈って、 読書を促してあげるのも方法です。

**12. 読書の大切さを忘れない。** 子供達は、1日15分 の読書でも1年後には平均100万語以上の言葉に触 れることが、調査でわかっています。1時間の読書なら、 400万語といわれています。テレビや会話には 出てこない言葉やものの考え方出会い、理 解 する力が、読書によって得られるのです。 授業用教科書の理解に必要な技術も身につき ます。実際、毎日親子でする読書ほど、子供 の成功にとって重要なことはないのです。



毎日の読書。  
どんな未来が  
ひらけるのだろう。  
[www.readcalifornia.org](http://www.readcalifornia.org)

# 子供達の 成長のために。

# 親子で 毎日一緒に 読書を しましよう。



*READ*  
California

毎日の読書。  
どんな未来が  
ひらけるのだろう。

# 家

でも本を読む子供達は、授業以外に読書をしない子達よりも伸びるということが、調査の結果わかつています。子供達が楽しく読書ができるよう、また、毎日の読書習慣を身につけるよう、親である私達が手伝ってあげましょう。



**1. 小さな頃から始める。**子供が小さいうちから物語を読んであげると、言葉や発音を覚え、将来の学習に役立ちます。さらに大切なのは、読書の楽しさ、読書を通じた親とのふれあいを学ぶことでしょう。

**2. お手本を示す。**子供達は、まわりの大人を真似します。親がテレビを消して、新聞や雑誌、または本などを読めば、読書の大切さが子供達にもわかるはずです。

**3. 本をいつも身边に。**毎週、図書館に行きましょう。誰でも本を無料で借りることができます。「お話し」の時間に子供を連れて行ったり、興味に応じた本を図書館のスタッフに推薦してもらいながら、自分で選ばせてあげましょう。何百冊もの中から選ぶのは、子供達にとっても大きな喜びなのです。

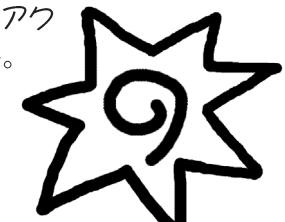


図書館に行けない場合は、巡回図書館の車が近所に回つて来るか、調べてみましょう。学校の図書館から子供が本を借りてくる、という方法もあります。ガレージセールもチェックし、贈り物をする機会があれば本をあげるようにしましょう。

**4. 読書の時間と場所をつくる。**アメリカ人の子供は、1日平均3時間、テレビを観ているとされています。それなら、毎日読書のための時間をつくることは、難しくないはずです。就寝前が理想的な読書時間だとする親も少なくありません。子供達は落ち着いており、親にとっても就寝前のくつろぎを楽しむことができるからです。

**5. 一緒に読む。**親のすぐ傍において、一緒に読書をするというのには、子供達にとっても特別なものです。小さな子供達は、親が読んでいく言葉についてゆけるようになります。子供が自分で読めるようになれば、親子で順番を決め、ページごとに交替して読みましょう。一緒に読む習慣が身につければ、年長の子供達が自分の本を読む横で、親も何か読書をしましょう。

**6. 楽しさを演出する。**子供達が小さいうちは、登場人物ごとに違った声音をつくって、お話しや歌、詩などを読んであげましょう。子供達の参加を促したり、動物やアクションに応じた効果音をつけたりしましょう。自分で読める力がつけば、声音や効果音もできるように手伝ってあげて下さい。



**7. まわりにある活字をなんでも読む。**目につくものは全て声に出して読んでみましょう。シリアルの箱、Tシャツの文字、道路標識や街頭広告、スーパーマーケットの案内や地図など、何でも構いません。することなすこと全てにおいて、読むという行為がいかに大切かを、子供達に教えてあげましょう。

**8. 子供を読書家にするための工夫。**一緒に読書する際には、意見の交換をしたり、「この後どうなるのかしらね?」などといった質問を向けてみましょう。読書後の感想も話し合いましょう。「この主人公がしたことは、正しかったかしら?」という風に。読書を楽しむ人間に成長するには、人の意見に耳を傾け、自分の意見をきちんと述べる力が必要です。読書時の話し合いによって、こうした能力が培われるのです。子供達が大きくなれば、今どんな本を読んでいるのかを質問してあげましょう。子供達は本の内容を人に話すことで、自分の得た情報を整理し、記憶する技術を身につけていくのです。

